

京師にて家書を得たり
(袁凱)

江水 三千里

家書 十五行

行々 別語 無く

只道 早く 郷に 帰れと

江水三千里 家書十五行
行行無別語 只道早歸郷

解説 南京にいたとき、故郷からの手紙を読んで、望郷の念を起こし、その心情を詠じた詩。

語釈 ※京師||南京をさす。※家書||家族からの手紙。※江水||長江。
※三千里||長いことを例えた。※別語||ほかのことば。※道||言うこと。

通釈 長江の流れは三千里。家族からの手紙はたったの十五行。どの行も、どの行もほかの言葉はなく、ただ、早く故郷に帰れとあるばかり。